

紫外線チェックカードをつくらう

夏の季節になると、ちょっと外を散歩ただけで日焼けして肌がヒリヒリ。

車を運転していても、室内でも窓際にいても、しっかり日焼けしてたつてこともあります。春や冬だって油断禁物！紫外線は目に見えないから困ったものです。

そこで、紫外線チェックカードを作って日常生活に役立てましょう。

材 料

- ・紫外線で色が変わる紙（ケニス 1-115-901）
- ・名刺用台紙
- ・はさみ、のり、サインペンなど
- ・クラフトパンチ
- ・ラミネートマシン
- ・ラミネートフィルム（カードサイズ）



☆材料の紹介 色が変わる紙（ケニス 1-115-901、150 × 150mm）

紫外線を当てると色が変わる紙です。一度色が変わっても時間が経てば元の色に戻ります。《 色変化：ピンク→オレンジ、グレー→青、白→紫、黄→緑、ピンク→紫 》

作り方

- 1 名刺となる台紙に自分の名前やかわいいイラストなどを書きます。
- 2 「色が変わる紙」を適当なサイズに切り取り、名刺にはり付けられるようにします。切り取る際に、クラフトパンチ（型抜きパンチ）を利用すると、ハートやクローバーの形やイルカなどの動物形のものまで様々な形に切り抜けます。
- 3 切り取った「色が変わる紙」をのりで名刺にはり付けます。色が変わる紙には表と裏があり表側だけ色が変わります。そのためどちらが表なのか事前に太陽光に当てて確認しておくことが失敗しないコツです。色が変わる紙の裏面にのりを付けて名刺にはり付けて完成です。
- 4 「色変わり名刺」をラミネート加工して、キズや汚れがつきにくく、安心して屋外に持ち出せるようにします。

紫外線チェックカードを使ってみましょう

紫外線チェックカードを使って、いろんなところで紫外線をチェックしてみましょう。太陽の光に当てると、すぐに紙の色が変わるのがわかります。さらに、晴れの日以外に曇りの日でも試してみましょう。意外なことに曇りの日でも紙の色は変わります。これは曇りの日でも紫外線が地上に降り注いでいる証拠です。曇りであっても紫外線対策は忘れないようにしなければなりません。

紫外線で色が変わったり、紫外線量が測定できる教材の紹介

各メーカーの教材カタログには、紫外線発色ビーズや既成の紫外線チェックカードなど段階的に紫外線量がわかるものが掲載されています。また、紫外線測定器なども発売されています。